



日本易学中道会だより

太陽が燦燦と輝く夏の季節を迎えました。山に、海に、開放感や楽しみを求めて多くの人々が出かけていきます。夜はちょっとロマンティックにお星さまを眺めたり・・・夜風を楽しんだり風景がよく見られる時期です。

七月七日の七夕祭りには【願った事はすべて叶う】との言い伝えを信じて、短冊にお願い事を書き笹につるしたものです。実は私も、努力してない自分を棚に上げ、『立てばシャクヤク座ればボタン歩く姿はユリの花』とまでは言わないけれど、もう少しスマートになりますように!と勝手なお願いを書いた事があります。

八月に入ると夏休みやお盆がやって来ます。旅行に行く人、実家のお墓参りやお仏壇のご先祖様へのご挨拶に行く人等で、多くの人々が移動したり環境を変えたりされます。人との関わりや環境、場所が変わることで、実は自分の運氣を変えるチャンスにもなっています。

良い人間関係が結べたり喜びの月になるといいですね。

九月になると上旬に、九月九日の重陽の節句の大変おめでたい日を迎えます。易学では奇数を陽の数、偶数を陰の数と表現していて、九は陽の数の最高の数であり、ある見方では(天の数)といって神聖視されていました。九月九日はその九が重なる日ですから最高におめでたい陽の日で、健康長寿をお祝いするならわしも伝えられています。

又自然界では菊の花のとても美しい時期ですので、別名菊の節句とも言われています。天皇家の御紋が菊の花であるところから、尊い日とされ、この日にお酒の入った盃に菊の花びらを浮かべてお祝いをする習慣も伝えられています。『月々に月見る月は多けれど、月見る月はこの月の月』と詠まれる中秋の名月を見ながら飲むお酒を楽しまれてはいかがでしょうか。中旬には敬老の日で、お年寄りを敬愛し長寿をお祝いする。又お彼岸もあり、この日はご先祖様に感謝し、精霊の供養をさせていただきます。等々私達の暮らす日本には古来より大切な文化が伝えられて来ています。

自然豊かに、心豊かに深く受けとめ、味わい、そして次世代に継承していきたいものです。

澄みきった青空の下で伸び伸びと元気いっぱい活動されますようにお祈り致しております。

